

## 日本レコード大賞アジア音楽賞の 沢 知恵さん 3回目の今年は、オールリクエスト!

### 第四回 荒生田塾コンサート



# 11月4日(土) 午後3時より (2時半開場)

## 沢 知恵 ピアノ弾き語りコンサート

### 「神さま、いのちをありがとう!」 オールリクエスト!

大人 **2,000** 円 (当日 2,500 円) 予約の方にはリクエスト葉書をお渡します。  
小中学生 **1,000** 円 (当日 1,300 円)

予約・問い合わせ  
**093-651-6669**

※小学生以上対象。未就学のお子さんはミニコンサートにご参加ください。

今年は「こどものためのミニコンサート」開催!

11月4日(土) 午後1時より (12時半開場)。

入場無料 申込不要



会場/東八幡キリスト教会 北九州市八幡東区荒生田 2-1-40

※席に限りがあるので、お早めにご予約ください。座席は当日の先着順になります。

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

# 11月5日(日) 午前10時半より

## キリスト教講演会 (創立記念礼拝)

講師: 奥田知志 牧師 (当教会牧師)

**※この日も沢さんが1曲歌ってくださいます!**



さわ ともえ  
**沢 知恵**

1971年生まれ。日本、韓国、アメリカで育ち、3歳よりピアノを弾く。東京芸術大学楽理科在学中に歌手デビュー。最新作〈われ問う〉など27枚のアルバムを発表。第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。東京での季節公演はじめ、ハンセン病療養所、災害被災地、少年院、児童養護施設等でも活動している。

おもなテレビ出演「徹子の部屋」「題名のない音楽会」「ハートネットTV」。おもな著書『ありのままの私を愛して』『私のごすべるくろにくる』。

キリスト教エッセイ「人は、なぜ学ぶのか」 奥田知志

私は、小さい頃、あまり勉強好きではありませんでした。母親は結構な「教育ママ」(懐かしい言い方ですが)で良く漢字の書き取りをやらされたことを覚えてます。私は、それが嫌で、風呂から上がってこないというささやかな抵抗を試みましたが、のぼせて目は回るし、母は全く諦める様子もなく待ち続け、毎度この無駄な抵抗はむなしく終わっていました。ただ、そんな風な「嫌々の勉強」でしたから、あまり結果は出ません。母には申し訳なかったですが、ただ、いかにして漢字の書き取りから逃れることが出来るか、どうしたら風呂に1時間以上入ることが出来るか、については結構真剣に考え、学んだような気がしました。

それにしても、なぜ人は勉強しなければならないのでしょうか。教育哲学者であり教育者であった林竹二は、このように述べています。「学ぶということとは、覚えこむこととは全くちがうことだ。学ぶとは、いつでも、何かがはじまることで、終ることはない過程に一步ふみこむことである。一片の知識が学習の成果であるならば、それは何も学ばないでしまったことではないか。学んだことの証しは、ただ一つで、何かがわかることである」(『学ぶということ』)。確かにそうだと思います。何も変わっていないのなら、それは何も学んでいないことになります。人は、学ぶことによって変わることが出来ます。それが希望です。

では、人は学ぶことによってどのように変わるのでしょうか。何がどう変わるのでしょうか。しばしば子どもたちによるホームレス襲撃事件が起こります。石を投げられた人、火のついた花火を投げ込まれた人もいます。「犯人」は、小中学生です。困った被害者と一緒に学校に相談に行き、実情を訴えます。だいたいどの学校でも、この訴えをキチンと受け止め、子どもたちと向き合ってくださいます。そして、だいたい襲撃は無くなります。子どもたちは学び、知ることによって確実に変わっていくのです。

なぜ子どもたちはホームレスを襲撃するのでしょうか。それは「怖いから」だと思えます。恐怖は人を攻撃的にします。「何をやるかわからないから、やられる前にヤレ」なんてことになります。子どもたちには、「なぜホームレス状態の人が存在するのか」、「彼らは何者なのか」、「どんな生活をしているのか」、それが全く分からないわけです。人は、わからないもの、不可解なもの、不可思議なものに恐怖を覚えます。「不可思議」と言う言葉には、「異様なこと。怪しいこと」という意味があるようですが、異様とか、怪しいことが人を怖がらせるわけです。幽霊やお化けが怖いのは「わからない」からに他なりません。わからないこと、知らないことが多いほど、「恐怖」に支配される人生になります。

勉強しないと世の中は「怖いものだらけ」となり、疑心暗鬼の人生を送ることになります。だから、私たちは勉強するのです。私たちは「怖いもの」を減らすために勉強せざるを得ないのです。きちんと学ぶことができた人は、林先生が言うように「変わる」ことができるのですから。学ぶとは「怖がる人から怖がらない人へ」と変わる営みだと言えます。

勉強することを軽んじると世界は恐怖で満ち溢れます。大人の世界も同様です。良く知らない者同士が互いに恐怖に支配されると攻撃的になります。社会的排除が公然と行われたりします。そして、さらにその先には戦争ということにもなりかねません。私たちはもっと勉強しなければなりません。勉強しないと「もつと怖い」ことになるからです。

イエスはこう語られました。「わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう」(『マタイ福音書』一章一九節)。学ぶことで私たちが、恐怖を無くし「魂に休みが与えられる」と。だから、人は学び続けなければなりません。分断の時代に生きる者は、互いに「ヘイト(憎悪)をたぎらせないために学び続けるのです」。

東八幡キリスト教会では毎週日曜日、聖書を学びます。人生から「いらぬ恐怖」を取り除こうというわけです。どうぞ、お越しください。

うまい！安い！ためになる！

# 教会バザー2017

## 11月23日

(木/休)

## 午前 10:30 開始

### バザーの目的について

今年度のバザー収益金は、主に以下の目的のために用いられます。

- ① 東日本大震災被災者・福島原発被害者のために⇒共生地域創造財団へ
- ② アフガンでの医療活動のために ⇒ペシャワール会へ
- ③ アジアの農業研修生支援のために ⇒PHD協会へ
- ④ ホームレス自立支援のために ⇒NPO 法人 抱樸へ
- ⑤ 「障害」者施設のために ⇒久山療育園へ、太陽パンへ
- ⑥ 海外での医療活動のために ⇒キリスト教海外医療協力会へ
- ⑦ ルワンダの平和と和解のために ⇒佐々木さんを支援する会へ
- ⑧ 東八幡キリスト教会の活動のために (新教会堂建築費用)

### 今年もやります！

## とれたて 新米！

## れんげ米

毎年大好評の新米を  
今年もどうぞ！

11月6日より配達開始

5kg **2400円** (配達無料)

数に限りあり。お早めにお申し込みを。

電話/FAX 093-651-6669

### 品物提供のお願い

バザーは、毎年主旨に賛同くださる多くの方々のご厚意の品物によって支えられています。今年もよろしくお願ひします。

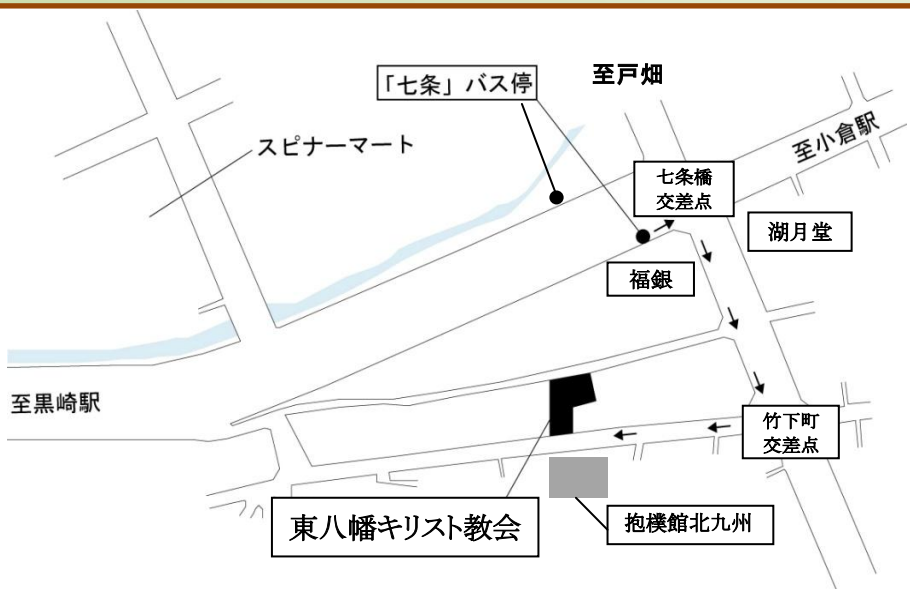
#### 集めている品物

- ①新品食器類
- ②タオル、毛布、シーツ類、石鹸
- ③新品家電
- ④新品衣類
- ⑤趣味の品・鞆・靴
- ⑥古本・CD・DVD
- ⑦子ども用品・おもちゃ

その他なんでもOKです。

但し申し訳ありませんが、新品もしくは、それに準ずるものに限らせていただいております。(古本おもちゃは除く)。

ともかくお電話ください。頂きに伺います。どうぞ、よろしくお願ひします。(受付期間：11月6日～11月19日)



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40

電話/FAX (093) 651-6669 ホームページ: [東八幡キリスト教会](http://www.higashiyahata.ch) 検索

Email: [higashiyahata.ch.1955@nifty.com](mailto:higashiyahata.ch.1955@nifty.com)

牧師: 奥田 知志 石橋 誠一

協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生 齊藤弘司



『軒の教会』(設計:手塚建築研究所 施工:東建設)は2015年度グッドデザイン賞や第28回福岡県美しいまちづくり建築賞などを受賞しました。

### 定例集会

- ・主日礼拝(一般の部) 毎週日曜午前10時30分より
- ・子ども礼拝(小学生以下の部) 毎週日曜日午前9時30分
- ・少年少女会(中学生会) 毎週日曜日礼拝後
- ・聖書の学びとお祈りの会
  - 夜の部 毎週水曜日午後7時30分
  - 昼の部 毎月第3水曜日午後1時

### 牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう！牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話093-651-6669